

青少年の喫煙・飲酒防止のための社会環境づくりに関する県民意識調査の結果について

1 趣旨

県では、青少年の喫煙・飲酒を防止する社会環境の形成を促進するため、新たな条例の制定に向けた準備を進めています。こうした取組みの方向性について、広く県民の皆様のご意見をお聞きするための調査を実施しました。

2 概要

(1) 実施概要

調査方法	調査対象者等	実施期間	回答者数
県政モニター県政課題アンケート	公募により選考された県政モニターの方	H18.5.10～5.23	377名
インターネット調査	WEB調査会社に登録している県民の方	H18.5.24～5.26	1,559名
県機関・ホームページでの調査用紙配布等	来庁された方やホームページを閲覧された方	H18.5.29～6.28	313名
合計			2,249名

取組強化の方向性を聞く重要な調査であることから、より多くの県民の皆様からご意見をいただく必要があるため、上記のとおり調査しました。なお、いずれも同じ設問で調査を実施しています。

(2) 結果概要

各調査の結果を総合したところ、以下のとおりとなりました（資料1参照）。

なお、いずれの調査結果もほぼ同様の傾向となっています（資料2参照）。

① 社会環境について

- ・ 未成年者が容易にたばこや酒類を入手できる社会環境だと思ふとの意見が多数でした。
- ・ また、そうした社会環境が青少年の育成に悪い影響があると思ふとの意見が多数でした。

② 販売店等の取組みについて

- ・ たばこ・酒類の販売店等で年齢確認が徹底されているとの意見は少数でした。
- ・ 販売店等に対しては、たばこ・酒類自動販売機への成人識別機能の導入や、青少年が購入しづらい環境を作ること等を望む意見が多数でした。

③ 家庭や地域の取組みについて

- ・ 保護者の監督が徹底されているとの意見は少数でした。
- ・ 見て見ぬふりをすること等が青少年の喫煙・飲酒の助長につながるとの意見が多数でした。

④ 県の取組みについて

- ・ 県の責務としては、青少年への教育充実や販売者等への指導強化などを期待する意見が多数でした。
- ・ 条例の基本的事項としては、年齢確認の具体的方法を規定することや自動販売機への成人識別機能の義務付けの必要性等について肯定的な意見が多数でした。

3 今後の予定

この調査結果等を踏まえ、この秋には新たな条例の骨子案を公表し、改めてパブリック・コメントを実施するとともに、引き続き県議会、関係業界の皆様のご意見をいただきながら条例の具体化に向けた取組みを進めます。

(問い合わせ先)

県民部青少年課 副課長 西條

電話 045-210-3831

メールアドレス sei@pref.kanagawa.jp

ハローファクスボックス番号	28018
ホームページアドレス	Http://www.pref.kanagawa.jp/press/0608/28018/index.html

青少年の喫煙・飲酒防止のための社会環境づくりに関する県民意識調査の結果(概要)

I 調査回答者の属性

性別	(人)
男性	1,159
女性	1,073
不明※	17
計	2,249

年代別	(人)
10代	4
20代	379
30代	495
40代	410
50代	373
60代以上	570
不明※	18
合計	2,249

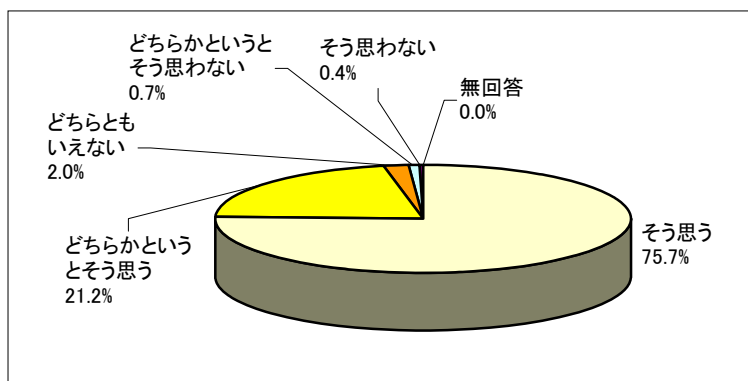
地域別	(人)
横浜市	800
川崎市	291
横須賀三浦地区	171
県央地区	264
湘南地区	315
足柄上地区	87
西湘地区	131
県北地区	160
不明※	30
合計	2,249

※属性について
無回答の方は「不明」と
しました。

II 調査結果の概要

【社会環境について】

問1 あなたは、未成年者が容易にたばこや酒類を入手できる社会環境だと思いますか。

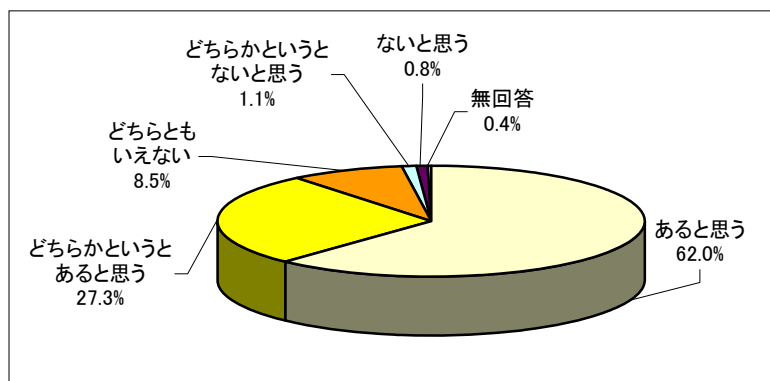


回答者数 2,249 人

- ・「そう思う」
- ・「どちらかというと思う」を合わせ、96.9%でした。

問2 《問1で「そう思う」または「どちらかというと思う」を選んだ方のみ》

あなたは、未成年者がたばこや酒類を容易に入手できる社会環境は、青少年の育成に悪い影響があると思いますか。

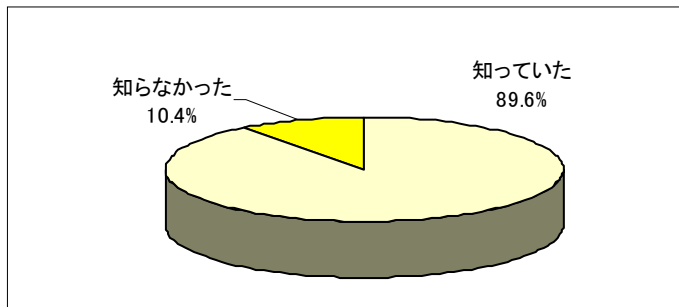


回答者数 2,179 人

- ・「あると思う」
- ・「どちらかというと思う」を合わせ、89.3%でした。

【販売者等の取組みについて】

問3 たばこや酒類の販売や提供を行う者（以下、「販売者等」とします）は、未成年と思われる者に対し年齢確認を行うことが義務付けられています。あなたはこのことを知っていましたか。

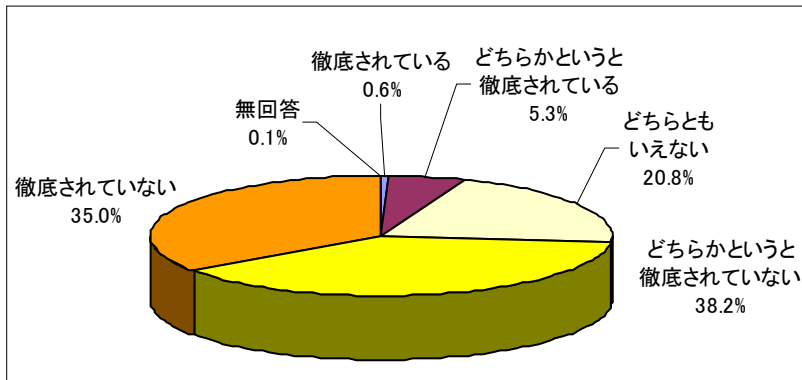


回答者数 2,249 人

・「知っていた」と回答された方は、89.6%でした。

問4 《問3で「知っていた」を選んだ方のみ》

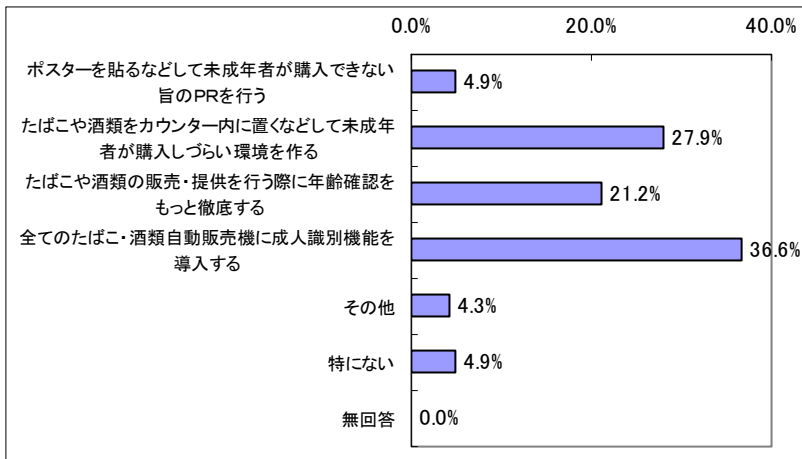
あなたは、販売者等による年齢確認は徹底されていると思いますか。



回答者数 2,015 人

・「徹底されている」
・「どちらかというと徹底されている」を合わせ、5.9%でした。

問5 あなたは、未成年者の喫煙・飲酒を防止するために、販売者等にどのような努力をして欲しいと思いますか。

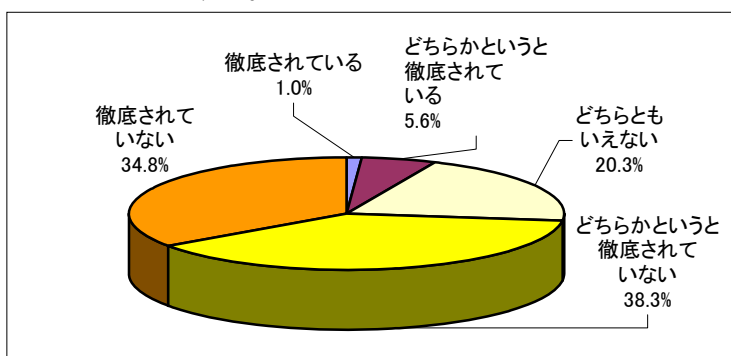


回答者数 2,249 人

「全てのたばこ・酒類自動販売機に成人識別機能を導入する」
「未成年者が購入しづらい環境を作る」
「年齢確認をもっと徹底する」などの意見が多くなっています。

【家庭や地域の取組みについて】

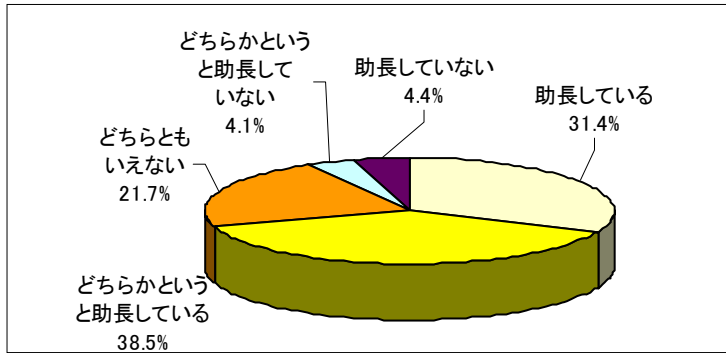
問6 法令により、保護者は、未成年者が喫煙・飲酒をしないよう監督する義務がありますが、徹底されていると思いますか。



回答者数 2,249 人

・「徹底されている」
・「どちらかというと徹底されている」を合わせ、6.6%でした。

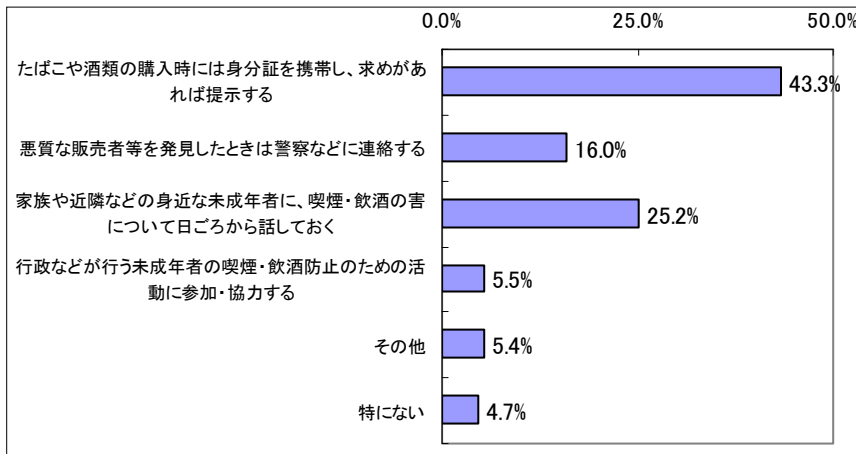
問7 あなたは、未成年者の喫煙・飲酒を見て見ぬふりをしたり、たばこや酒類の購入のお遣いを頼んだりすることが、未成年者の喫煙・飲酒を助長していると思いますか。



回答者数 2,249人

- ・「助長している」
- ・「どちらかというど助長している」を合わせ、69.9%でした。

問8 あなたは、未成年者の喫煙・飲酒を防止するために、どのような努力をするべきだと思いますか。

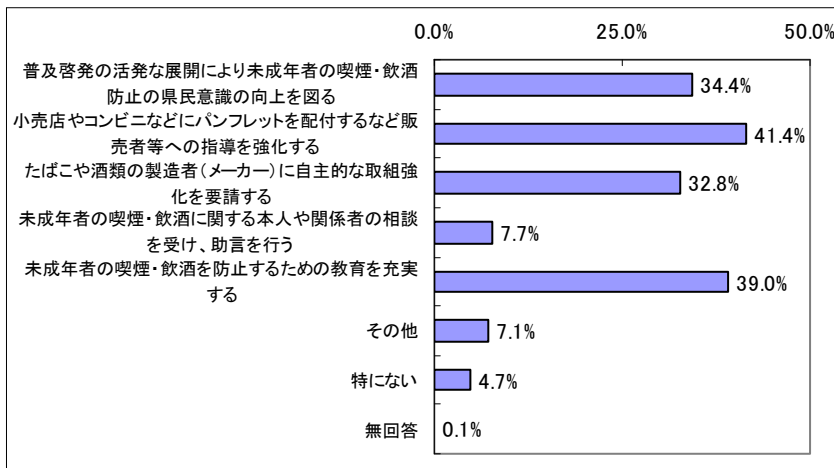


回答者数 2,249人

- ・「たばこや酒類の購入時には身分証を携帯し、求めがあれば提示する」
- ・「家族や近隣などの身近な未成年者に、喫煙・飲酒の害について日ごろから話しておく」などの意見が多くなっています。

【県の取組みについて】

問9 あなたは、未成年者の喫煙・飲酒を防止するために、神奈川県が取り組むべきだと思うことは何ですか。

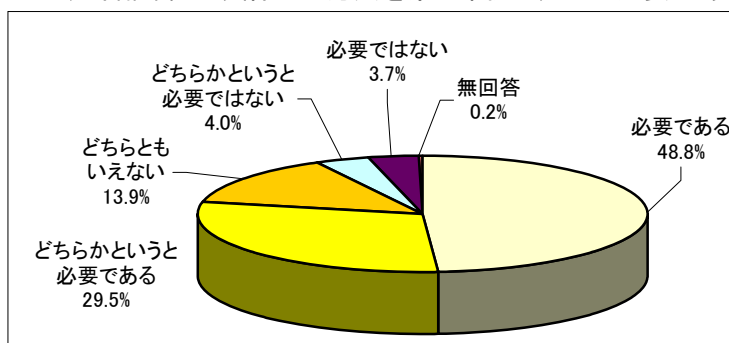


【2つまで回答】

回答者数 2,249人 回答数 3,762件
(回答率=回答数/回答者数)

- ・「販売者等への指導強化」
- ・「喫煙・飲酒防止教育の充実」
- ・「普及啓発活動の活発な展開」
- ・「メーカーへの自主的な取組強化要請」などの意見が多くなっています。

問10 あなたは、たばこ・酒類を販売・提供する時に、未成年者と思われる者に身分証を提示するよう求めるなど、年齢確認の具体的な方法を県の条例で定める必要があると思いますか。



回答者数 2,249人

- ・「必要である」
- ・「どちらかというど必要である」を合わせ、78.3%でした。

問 11 《問 10 で「必要ではない」「どちらかという必要ではない」を選んだ方のみ》

条例で具体的な方法を定めることについて、「必要ない」または「どちらかという必要ではない」と思う理由は何ですか。

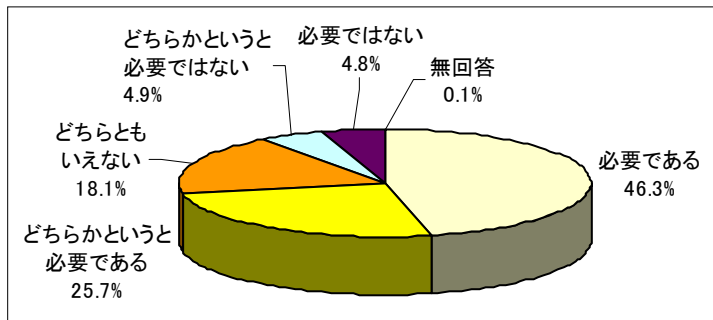
理 由	回答数
販売者の基準・裁量に任せるべき	39
現状で特に問題を感じない	22
販売(購入)の際に煩雑となるため	18
トラブルを避けるため	11
その他	68
特に理由はない	14
計	172

回答者数 172 人

その他の68名の主な意見としては、

- ・販売者の責任ではない
 - ・自動販売機がある限り効果はない
- 等がありました。

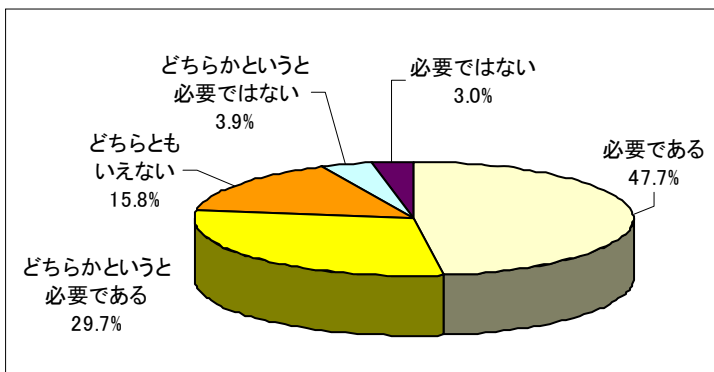
問 12 あなたは、県内の全てのたばこ・酒類自動販売機に成人識別機能の導入を義務付ける必要があると思いますか。



回答者数 2,249 人

- ・「必要である」
- ・「どちらかという必要である」を合わせ、72.0%でした。

問 13 あなたは、未成年者の喫煙・飲酒を防止するための新しい条例の実効性を高めるため、行政処分などの規定を設ける必要があると思いますか。



回答者数 2,249 人

- ・「必要である」
- ・「どちらかという必要である」を合わせ、77.4%でした。

【その他自由意見】

問 14 その他、未成年者の喫煙・飲酒を防止するために必要だと思うことを自由にご記入下さい。

回答内容	回答率
学校教育を充実すべき	17.0%
家庭の教育やしつけが重要である	15.8%
普及啓発活動をもっと強化すべき	15.3%
販売店や飲食店で年齢確認を徹底させるべき	11.8%
本人や保護者への罰則を検討すべき	10.2%
全ての自動販売機に成人識別機能を早期に導入すべき	10.1%
自動販売機による販売を禁止すべき	8.4%
違反した販売者等には重い処分を科すべき	7.6%
広告規制などの販売促進を規制すべき	6.6%
その他	10.7%

【複数回答方式で集計】

回答者数 1,978 人 回答件数 2,243 件

(回答率=回答件数/回答者数)

さまざまなご意見がありました。

- ・「学校教育を充実すべき」
 - ・「家庭の教育やしつけが重要である」
 - ・「普及啓発活動を強化すべき」
- などの意見が多くなっています。

青少年の喫煙・飲酒防止のための社会環境づくりに関する県民意識調査の結果(調査手法別)

※回答率(%)については、小数点第2位で四捨五入しており、合計が100.0%に一致しない場合があります。

問1 あなたは、未成年者がたばこや酒類を容易に入手できる社会環境だと思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① そう思う	1,702	75.7%	288	76.4%	1,156	74.2%	258	82.4%
② どちらかというと思う	477	21.2%	76	20.2%	355	22.8%	46	14.7%
③ どちらともいえない	46	2.0%	6	1.6%	34	2.2%	6	1.9%
④ どちらかというと思わない	15	0.7%	3	0.8%	10	0.6%	2	0.6%
⑤ そう思わない	8	0.4%	3	0.8%	4	0.3%	1	0.3%
無回答	1	0.0%	1	0.3%	—	0.0%	—	0.0%
計	2,249	100.0%	377	100.0%	1,559	100.0%	313	100.0%

(問1で①か②を選んだ方のみ回答)

問2 あなたは、未成年者がたばこや酒類を容易に入手できる社会環境は、青少年の育成に悪い影響があると思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① あると思う	1,350	62.0%	246	67.6%	879	58.2%	225	74.0%
② どちらかというと思う	595	27.3%	91	25.0%	451	29.8%	53	17.4%
③ どちらともいえない	185	8.5%	13	3.6%	150	9.9%	22	7.2%
④ どちらかというと思わない	23	1.1%	2	0.5%	17	1.1%	4	1.3%
⑤ ないと思う	17	0.8%	3	0.8%	14	0.9%	—	0.0%
無回答	9	0.4%	9	2.5%	—	0.0%	—	0.0%
計	2,179	100.0%	364	100.0%	1,511	100.0%	304	100.0%

問3 たばこや酒類の販売や提供を行う者(以下、「販売者等」とします)は、未成年者と思われる者に対し年齢確認を行うことが義務付けられています。あなたはこのことを知っていましたか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① 知っていた	2,015	89.6%	312	82.8%	1,417	90.9%	286	91.4%
② 知らなかった	234	10.4%	65	17.2%	142	9.1%	27	8.6%
計	2,249	100.0%	377	100.0%	1,559	100.0%	313	100.0%

(問3で①を選んだ方のみ回答)

問4 あなたは、販売者等による年齢確認は徹底されていると思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① 徹底されている	13	0.6%	—	0.0%	12	0.8%	1	0.3%
② どちらかという徹底されている	106	5.3%	31	9.9%	61	4.3%	14	4.9%
③ どちらともいえない	419	20.8%	63	20.2%	296	20.9%	60	21.0%
④ どちらかという徹底されていない	769	38.2%	122	39.1%	545	38.5%	102	35.7%
⑤ 徹底されていない	706	35.0%	94	30.1%	503	35.5%	109	38.1%
無回答	2	0.1%	2	0.6%	—	0.0%	—	0.0%
計	2,015	100.0%	312	100.0%	1,417	100.0%	286	100.0%

問5 あなたは未成年者の喫煙・飲酒を防止するために、販売者等にどのような努力をして欲しいと思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① ポスターを貼るなどして未成年者が購入できない旨のPRを行う	111	4.9%	33	8.8%	64	4.1%	14	4.5%
② たばこや酒類をカウンター内に置くなどして未成年者が購入しづらい環境を作る	628	27.9%	127	33.7%	387	24.8%	114	36.4%
③ たばこや酒類の販売・提供を行う際に年齢確認をもっと徹底する	477	21.2%	68	18.0%	341	21.9%	68	21.7%
④ 全てのたばこ・酒類自動販売機に成人識別機能を導入する	824	36.6%	113	30.0%	613	39.3%	98	31.3%
⑤ その他	97	4.3%	31	8.2%	50	3.2%	16	5.1%
⑥ 特になし	111	4.9%	4	1.1%	104	6.7%	3	1.0%
無回答	1	0.0%	1	0.3%	—	0.0%	—	0.0%
計	2,249	100.0%	377	100.0%	1,559	100.0%	313	100.0%

※ 「その他」のうち、主な意見は「自販機をやめる」が40名、「免許の返上など」販売店に対する意見が28名などでした。

問6 法令により、保護者は、未成年者が喫煙・飲酒をしないよう監督する義務がありますが、徹底されていると思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① 徹底されている	23	1.0%	4	1.1%	15	1.0%	4	1.3%
② どちらかという徹底されている	126	5.6%	36	9.5%	72	4.6%	18	5.8%
③ どちらともいえない	456	20.3%	81	21.5%	316	20.3%	59	18.8%
④ どちらかという徹底されていない	862	38.3%	156	41.4%	597	38.3%	109	34.8%
⑤ 徹底されていない	782	34.8%	100	26.5%	559	35.9%	123	39.3%
計	2,249	100.0%	377	100.0%	1,559	100.0%	313	100.0%

問7 あなたは、未成年者の喫煙・飲酒を見て見ぬふりをしたり、たばこや酒類の購入のお遣いを頼んだりすることが、未成年者の喫煙・飲酒を助長していると思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① 助長している	706	31.4%	147	39.0%	433	27.8%	126	40.3%
② どちらかという助長している	866	38.5%	138	36.6%	615	39.4%	113	36.1%
③ どちらともいえない	487	21.7%	65	17.2%	366	23.5%	56	17.9%
④ どちらかという助長していない	92	4.1%	11	2.9%	72	4.6%	9	2.9%
⑤ 助長していない	98	4.4%	16	4.2%	73	4.7%	9	2.9%
計	2,249	100.0%	377	100.0%	1,559	100.0%	313	100.0%

問8 あなたは、未成年者の喫煙・飲酒を防止するために、どのような努力をするべきだと思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① たばこや酒類の購入時には身分証を携帯し、求めがあれば提示する	974	43.3%	131	34.7%	706	45.3%	137	43.8%
② 悪質な販売者等を発見したときは警察などに連絡する	359	16.0%	57	15.1%	255	16.4%	47	15.0%
③ 家族や近隣などの身近な未成年者に、喫煙・飲酒の害について日ごろから話しておく	566	25.2%	130	34.5%	341	21.9%	95	30.4%
④ 行政などが行う未成年者の喫煙・飲酒防止のための活動に参加・協力する	123	5.5%	24	6.4%	84	5.4%	15	4.8%
⑤ その他	121	5.4%	32	8.5%	75	4.8%	14	4.5%
⑥ 特になし	106	4.7%	3	0.8%	98	6.3%	5	1.6%
計	2,249	100.0%	377	100.0%	1,559	100.0%	313	100.0%

※ 「その他」のうち主な意見は「家庭での教育やしつけを徹底する」が29名、「成人もマナーを守る」が23名でした。

問9 あなたは、未成年者の喫煙・飲酒を防止するために、神奈川県が取り組むべきだと思うことは何ですか。【2つまで回答】

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)
① 普及啓発の活発な展開により未成年者の喫煙・飲酒防止の県民意識の向上を図る	773	34.4%	145	38.5%	500	32.1%	128	40.9%
② 小売店やコンビニなどにパンフレットを配付するなど販売者等への指導を強化する	932	41.4%	161	42.7%	630	40.4%	141	45.0%
③ たばこや酒類の製造者(メーカー)に自主的な取組強化を要請する	738	32.8%	137	36.3%	469	30.1%	132	42.2%
④ 未成年者の喫煙・飲酒に関する本人や関係者の相談を受け、助言を行う	174	7.7%	26	6.9%	115	7.4%	33	10.5%
⑤ 未成年者の喫煙・飲酒を防止するための教育を充実する	878	39.0%	187	49.6%	543	34.8%	148	47.3%
⑥ その他	160	7.1%	37	9.8%	107	6.9%	16	5.1%
⑦ 特になし	105	4.7%	2	0.5%	92	5.9%	11	3.5%
無回答	2	0.1%	2	0.5%	—	0.0%	—	0.0%
回答者数 2,249人	3,762	—	697	—	2,456	—	609	—

※【2つまで回答】割合は、回答件数/回答者数により算出しています。

※「その他」のうち主な意見は「取り締まりや罰則の徹底」が76名、「自販機の禁止」が25名でした。

問10 あなたは、たばこ・酒類を販売・提供する時に、未成年者と思われる者に身分証を提示するよう求めるなど、年齢確認の具体的な方法を神奈川県の条例で定める必要があると思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① 必要である	1,097	48.8%	167	44.3%	751	48.2%	179	57.2%
② どちらかという必要である	663	29.5%	107	28.4%	484	31.0%	72	23.0%
③ どちらともいえない	313	13.9%	55	14.6%	213	13.7%	45	14.4%
④ どちらかという必要ではない	89	4.0%	23	6.1%	56	3.6%	10	3.2%
⑤ 必要ではない	83	3.7%	21	5.6%	55	3.5%	7	2.2%
無回答	4	0.2%	4	1.1%	—	0.0%	—	0.0%
計	2,249	100.0%	377	100.0%	1,559	100.0%	313	100.0%

(問10で④か⑤を選んだ方のみ回答)

問11 条例で具体的な方法を定めることについて「必要ではない」又は「どちらかという必要ではない」と思う理由は何ですか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
① 現状で特に問題を感じない	22	6	11	5	—	—	—	—
② トラブルを避けるため	11	2	9	—	—	—	—	—
③ 販売(購入)の際に煩雑となるため	18	5	11	2	—	—	—	—
④ 販売者の基準・裁量に任せるべき	39	5	30	4	—	—	—	—
⑤ その他	68	26	36	6	—	—	—	—
⑥ 特に理由はない	14	—	14	—	—	—	—	—
計	172	44	111	17	—	—	—	—

※「その他」のうち主な意見は「販売者の責任ではない」が25名、「自販機がある限り効果はない」が14名でした。

問12 あなたは、県内の全てのたばこ・酒類自動販売機に成人識別機能の導入を義務付ける必要があると思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① 必要である	1,042	46.3%	182	48.3%	698	44.8%	162	51.8%
② どちらかという必要である	579	25.7%	85	22.5%	431	27.6%	63	20.1%
③ どちらともいえない	406	18.1%	59	15.6%	290	18.6%	57	18.2%
④ どちらかという必要ではない	111	4.9%	21	5.6%	75	4.8%	15	4.8%
⑤ 必要ではない	108	4.8%	27	7.2%	65	4.2%	16	5.1%
無回答	3	0.1%	3	0.8%	—	0.0%	—	0.0%
計	2,249	100.0%	377	100.0%	1,559	100.0%	313	100.0%

問13 あなたは、未成年者の喫煙・飲酒を防止するための新しい条例の実効性を高めるため、行政処分などの規定を設ける必要があると思いますか。

選択肢	合計		県政モニター		インターネット調査		調査用紙配布等	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① 必要である	1,072	47.7%	186	49.3%	720	46.2%	166	53.0%
② どちらかという必要である	667	29.7%	108	28.6%	493	31.6%	66	21.1%
③ どちらともいえない	355	15.8%	50	13.3%	249	16.0%	56	17.9%
④ どちらかという必要ではない	87	3.9%	20	5.3%	52	3.3%	15	4.8%
⑤ 必要ではない	68	3.0%	13	3.4%	45	2.9%	10	3.2%
計	2,249	100.0%	377	100.0%	1,559	100.0%	313	100.0%

問14 (自由意見)その他、未成年者の喫煙・飲酒を防止するために必要だと思うことを自由にご記入下さい。

回答内容	合計	
	回答件数	回答率
学校教育を充実すべき	336	17.0%
家庭の教育やしつけが重要である	312	15.8%
普及啓発活動をもっと強化すべき	302	15.3%
販売店や飲食店で年齢確認を徹底させるべき	234	11.8%
本人や保護者への罰則を検討すべき	201	10.2%
全ての自動販売機に成人識別機能をなるべく早期に導入すべき	199	10.1%
自動販売機による販売を禁止すべき	166	8.4%
違反した販売者等には重い処分を科すべき	150	7.6%
広告規制などの販売促進を規制すべき	131	6.6%
その他	212	10.7%
回答者数	1,978 人	—

※ 【複数回答方式で集計】回答率＝回答件数／回答者数により算出しています。

※ その他のうち主なものとしては、「周囲の大人が注意する」「どのような対策をとっても効果がない」などがありました。